

五島をつなぐ ～支庁の窓～ No.13

年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の台風第26号で犠牲になられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

各町村のご協力により、一昨年1月より開設いただきましたこのコーナーも丸2年を迎えることができました。私たち支庁の仕事を住民の皆様にご理解いただく一助となったと考えております。

さて、昨年10月16日未明、台風第26号に伴うかつてない大雨により、大島元町地区において大規模な土石流が発生し、死者36名行方不明者3名（平成26年12月27日現在）、家屋等被害約400戸に及ぶ未曾有の大災害が発生しました。

大島支庁としては、災害発生直後から土砂流出・冠水等の被害を受けた大島一周道路の開通、二次災害防止に向けた砂防ダム・流木の除去等を行ったほか、都庁各局との連絡調整や避難勧告等に伴う避難所の設置運営、生活再建支援相談窓口の企画運営など、現地対策本部として大島町を強力にバックアップしてきました。

皆様におかれましても、台風被害の恐ろしさを改めて痛感するとともに、自然災害に対する防災意識を強く持つきっかけとなったのではないのでしょうか。

このような状況を踏まえ、本年においても、大島支庁は各町村と連携し、被災された皆様の生活再建やインフラ・産業等の復旧復興に向けて全力で取り組むとともに、台風などの風水害をはじめとする地震や津波などの自然災害から住民の皆様の安全・安心を確保する取り組みを強化し、住民の皆様の自立的発展のために各種事業を進めてまいります。

最後に、新しい年が皆様にとって健やかで希望に満ちた一年でありますように、心からお祈り申し上げます。

大島支庁長 高本 賢司

